

# 都市と地方の人事交換制度「大人の山村留学」



360° 山に囲まれた丹波山村

## 丹波山村について

位置：山梨県の北東部

東京都と埼玉県に隣接

東京都心から車で約2時間半

人口：514人（2024年1月1日現在）

関東圏で最も人口が少ない自治体

産業：観光業を中心としたサービス業

特徴：村全体が国立公園

山林面積97%、多摩川の源流



# 都市と地方の人事交換制度「大人の山村留学」



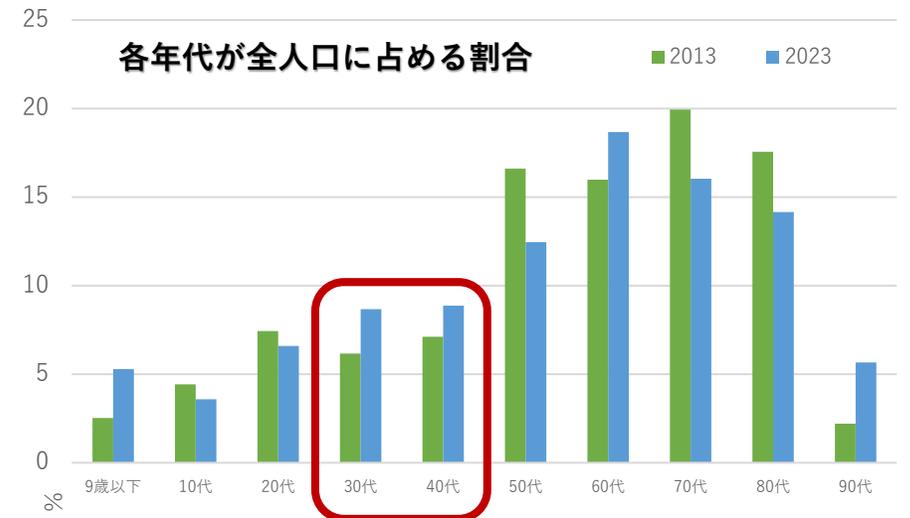
丹波山村で活動する地域おこし協力隊は17人。20代から60代までおり、40代が半数を占める。

## 山の中の小さな村に若い移住者が増加中

地域おこし協力隊はこれまで40人を委嘱。現在17人が活動中。卒業後の起業者数、定住者数も高数値。

過去10年間で、総人口は102人減少しているにもかかわらず、**30代、40代の人口は10年で増加**。高齢人口比率も低下するなど、人口構造の若返りがみられる。

地域おこし協力隊の卒業生など、**若い世代が起業し**、村内に新たに飲食店や事業所が生まれ、村の経済や産業の活性化につながっている。



# 都市と地方の人事交換制度「大人の山村留学」

## 2024年4月1日開始「大人の山村留学」とは？

関東近郊の都市部で暮らす20代の若者をターゲットとしたインターンシップ制度。丹波山村をフィールドに、1年または3カ月の期間、田舎暮らしと仕事を体験する。参加者には住居や研修の機会が用意され、報酬が支払われる。

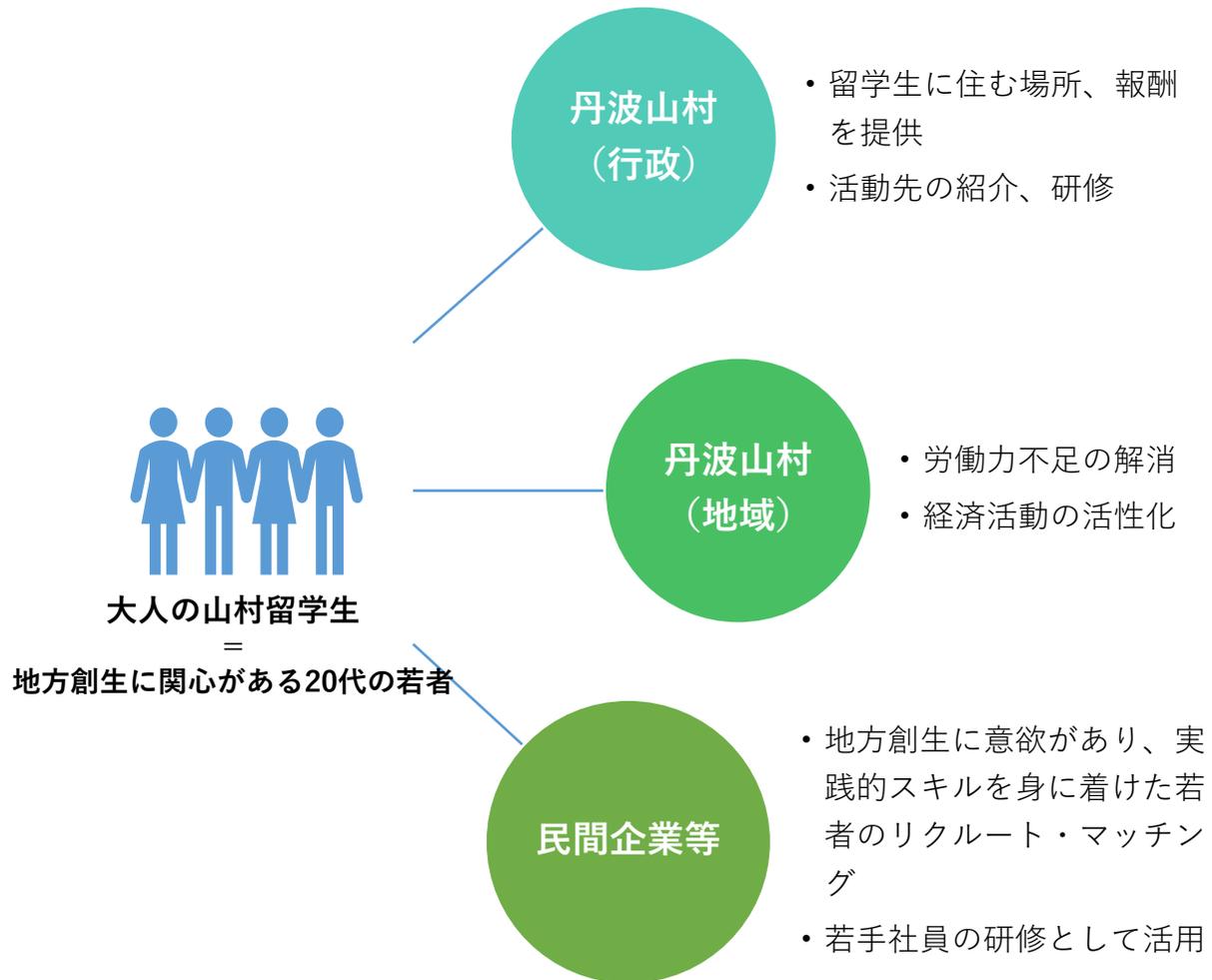
### 事業開発の背景

地方に関心がある若者は一定数いるが、地域おこし協力隊制度で掲げられているような「定住」や「起業」は負担に思われがち。また、大学の地方創生関係のゼミでのフィールドワーク活動は、1週間程度で物足りなさがある。

### 事業を通して実現したいこと

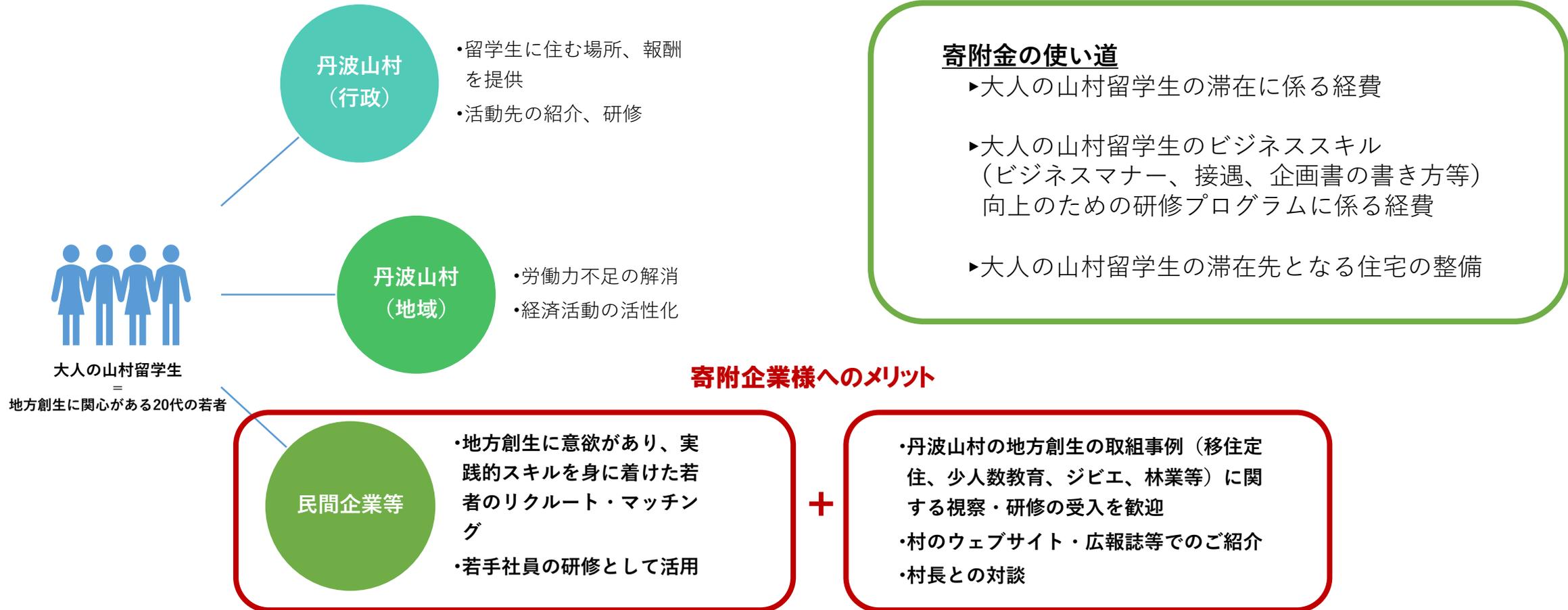
都心へのアクセスの良さを生かし、都市と地方の人の往来（都市人材と地方人材の人事交換）を活発化することで、VUCA時代に活躍できるハイブリッド人材を育成する。丹波山村においては、マンパワー不足の解消、地域の振興、新たな関係人口の創出を図る。

※「山村留学」は、自然豊かな農山漁村に、小中学生が1年単位で移り住み、地元の小中学校に通いながらさまざまな体験を積む活動。丹波山村では30年以上「山村留学」で都市部から子どもたちを受け入れ続けている。



# 都市と地方の人事交換制度「大人の山村留学」

企業版ふるさと納税で、地方創生の実践者となる若者の育成を！



# 都市と地方の人事交換制度「大人の山村留学」

若者の人材育成にご関心のある企業様からのご連絡をお待ちしております。



【本件に関するご連絡先】

丹波山村地方創生推進室 矢嶋澄香

TEL : 0428-88-0211 E-mail : [s-yajima@vill.tabayama.yamanashi.jp](mailto:s-yajima@vill.tabayama.yamanashi.jp)